

# 学校法人専修大学

## 役員改選

学校法人専修大学の役員選任は、寄附行為第8条第1項に定めるところによる。第1号(総長)は空席、同第2号の専修大学長、石巻専修大学長、専修大学北海道短期大学長は任期中のため、今回は改選の対象とならない。

改選の対象となったのは、同第3号(評議員のうちから評議員会において選任)と、同第4号(学識経験者として理事会において選任)に定める理事及び第9条の監事(評議員会において候補者を選出し、理事長が選任)で新理事が3人、新監事が1人。任期はいずれも11月3日から3年間。

### 役員

(再任/敬称略)

理事長 日高 義博(再任)  
理事 日高 義博  
理事 (専修大学長) 坂田 隆  
理事 (石巻専修大学長) 佐藤 猛(再任)  
理事 (専修大学北海道短期大学長) 道短期大学長 富山 尚徳(再任)  
理事 (専務) 岡村 誠男(再任)  
理事 (総務担当) 小豆畑 孝(再任)  
理事 (専務) 宮岡 孝之(再任)  
理事 甘竹 秀雄(再任)  
理事 桃野 直樹(再任)

理事 (専務) 田中 實(再任)  
理事 (専門職大学院、学生生活、就職、校友・育友担当) 松木 健一(再任)  
理事 (学務担当) 湯浅 敏明(再任)  
理事 (北海道短期大学、企画担当) 内野 明(再任)  
理事 (常務理事として新任) 伊東 洋三(再任)  
理事 (常務) 今野 健吾(新任)  
理事 (石巻専修大学、情報システム担当、総務担当) 市川 辰雄(新任)  
理事 (学務担当) 西島 篤師(新任)  
理事 (常勤) 白根 修(再任)  
理事 小宮多喜次(再任)  
理事 吉田 元亮(新任)  
理事 矢野 建一(再任)  
理事 (文学部長) 荒木 敏夫(再任)  
理事 (副学長) 瓶子 長幸(再任)  
理事 (経営学部長) 坂本 武憲(再任)  
理事 (法学部長) 内野 明(再任)  
理事 (商学部長) 伊東 洋三(再任)  
理事 (ネットワーク情報学部長) 市川 辰雄(新任)  
理事 (学務担当) 西島 篤師(新任)  
理事 (常勤) 白根 修(再任)  
理事 小宮多喜次(再任)  
理事 吉田 元亮(新任)  
理事 矢野 建一(再任)  
理事 (文学部長) 荒木 敏夫(再任)  
理事 (副学長) 瓶子 長幸(再任)  
理事 (経営学部長) 坂本 武憲(再任)  
理事 (法学部長) 内野 明(再任)  
理事 (商学部長) 伊東 洋三(再任)  
理事 (ネットワーク情報学部長) 市川 辰雄(新任)  
理事 (学務担当) 西島 篤師(新任)  
理事 (常勤) 白根 修(再任)  
理事 小宮多喜次(再任)  
理事 吉田 元亮(新任)

### 新役員紹介

今野 健吾氏(こんの けんご) 評議員。(学)松戸高校理事。本学法学部卒業。総務部長兼校友友友事務部長などを歴任。(学)専修大学

市川 辰雄氏(いちか ちゆう) 評議員。(学)松戸高校理事。本学法学部卒業。総務部長兼校友友友事務部長などを歴任。(学)専修大学



西島 篤師氏(にしじま たくし) 専修大学評議員。(学)玉名学園評議員。57歳。本学経済学部卒業。西

吉田 元亮氏(よしだ もとすけ) 本学商経学部卒業。公認会計士吉田元亮事務所。74歳。

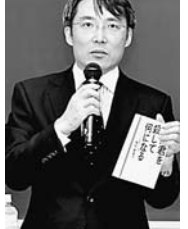


創立記念日の9月16日に読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞に全面広告「130年前、彼らが夢見た未来は、どんな未来だったのだろうか。」を掲載しました。この広告は『月刊プレーン12月号』(10月31日発売)で編集部が選ぶ優れた新聞広告作品として掲載されています。また、読売ADリポートojo(オッホ) Web版の「Consumer's ojo」において、読者モニターが選んだ広告としても掲載されています。  
http://adv.yomiuri.co.jp/consumer/200909/016.html  
(本学ホームページにも掲載)

## メディアの過去・現在・未来

第43回文学部公開講座「メディアの過去・現在・未来」が10月24日、生

田中 実(再任) キャンパスで開催され、73人が聴講した。インターネット、新聞、雑誌、本、テレビ、さまざまなメディアの社会的役割や可能性を4人の講師が探った。



秋吉美都准教授 日本近代史の社会的役割や可能性を4人の講師が探った。

大谷正教授 法学部教授が専門の大谷正教授が「日本新聞事始め」について「新しい器」と題して講演。明治初年の、西欧起源の「新聞」の成り立ちや新聞が日本社会に根付くまでを解説した。ジャーナリズム論の山田健太教授のテーマは「問われる

### 文学部公開講座

メディアの公 共性・テレビ 新聞・雑誌

メディアの新しいカタチを探る。新聞離れ、雑誌離れが叫ばれているが、日本は世界でも稀有なマス・メディア社会で、制度的にも支えられており社会的役割は大きい。公共的な存在であり続けるためには、メディア側の断続的な努力と同時に、我々が監視する力をもたなくてはならないと語った。ほかの講演は以下のとおり。

## エクステンションセンター公開講座「歴史を紐とく」終了



### 22000人が受講

「古代東アジア世界と日本・中国を共通テーマに9月から10月にかけて生田キャンパスで開かれ、延べ22000人が受講した。

今年、日本・中国という2つの古代国家の起源を探り、現代東アジアの中心

を成す日本と、急速に変貌をとげつつある超大国・中国との関係を掘り下げ、6人の講師が専門分野の見地から検証した。講演者・テーマは次のとおり。

▼9/26 矢野建一 文学部長「天岩戸神話と遺跡」

▼10/10 飯尾秀幸 文学部教授「中国古史における城郭都市の起源と展開」

▼10/24 松原朗 文学部教授「烽火連三月・戦乱と長安の詩人たち」

▼10/26 相武天 文学部教授「桓武天皇と遺跡」

### 古代日本と東アジア、に高い関心

▼10/10 飯尾秀幸 文学部教授「中国古史における城郭都市の起源と展開」

▼10/24 松原朗 文学部教授「烽火連三月・戦乱と長安の詩人たち」

▼10/26 相武天 文学部教授「桓武天皇と遺跡」

### 講座・イベント情報

【経営研究所・経営学部 地域と大学を結ぶセミナー】  
▽日時=12月10日(木)、17時~19時(予定)▽講師・テーマ=小林豊氏(昭49経営・テレビ静岡代表取締役社長、元フジテレビジョン取締役)「テレビ生活40年」▽場所=サテライトキャンパス▽電話044(911)1256

【社会関係資本研究センターシンポジウム】  
▽日時=12月19日(土)、10時~17時55分▽テーマ「社会関係資本の多様な構築—東アジアの持続的発展に向けて—」基調講演3本とパネルディスカッション▽場所=神田キャンパス731号教室▽電話044(911)1347

【2009多摩区3大学コンサートのお知らせ】  
▽日時=12月12日(土)、13時30分~16時15分▽本学から三曲研究会が出演し「晩秋三景」、「ルパン三世など」を演奏▽場所=多摩市民館大ホール▽当日先着800人

### 専修人の新しい本

大学経営の本質と財務分析 小藤 康夫 著

大学経営について論じる場合、一般企業の常識が通用しないことが多い。おそろしく大学が扱う教育や研究は、一般企業が生み出す財やサービスとまったく違った性格を持つと思われるためである。

だが大学でさえ、一般企業と同様に経営が行き詰まると試みている。

本書は、15人の専門家がセラピーで工夫している点を紹介している。第1章「精神分析的心理学」を担当した乾教授は40年に及ぶ経験から、「コンサルティイ(相談者)として対応し、曖昧さを受け入れる」といった心構えを記している。後進の能力向上とともに、心理学の発展・本質・統合などを吟味する1冊となる。(金剛出版・本体3400円+税)

編者(いぬいよしすけ) 文学部教授。臨床心理士。主な担当は臨床心理学。

### 旅が色濃く作品に 権田元教授、松本清張を解説

人文研公開講座 権田元教授(内藤雅雄所長)の創立40周年を記念する公開講座「旅人」の第6回講座が10月24日、神田キャンパスで行われ、1000人が聴講した。

今回のテーマは「松本清張と旅の魅力」で、講師は権田元教授。権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。

権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。権田元教授は、清張独自の旅の姿を紹介。

### 依願退職

(9月30日付) 東谷廣政 文学部教授 34年6カ月在職

### 永井荷風 仮面と実像

永井荷風 仮面と実像 柘植 光彦 編著

今年、永井荷風没後50年。生誕130年に当たる。荷風はどのような人だったのか、さまざまな理由で愛されてきた作家はいないといわれる。それは彼の人生そのものの、経歴の多岐さによるもので、経歴の多岐さによるもので、経歴の多岐さによるものである。

探検家・文学者・抵抗者・耽美家・戯作者の6分野から考察。高橋勇夫、川本三郎、半藤一利ら、このを得た筆者を揃えて「近代」を同時代への抵抗「江戸趣味と女性遍歴」などを解き明かしている。

最終章は編者の担当で、荷風の傑作とされる「四畳半襖の下張」原文と注釈・解説。さらに「わいせつ文書」公判で特別弁護人として被告無罪を主張した最終弁論が掲載されている。(ぎょうせい・本体2857円+税)

編者(つげてるひこ) 名誉教授